

Wish 【ウィッシュ】

No. **74**

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

2024. 7【年3回発行】

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域で必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

理事会より

報告

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 2024年度 総会を開催しました



総代 70名 / 実参加 64名 / 委任状 4通
札幌エルプラザ (5/24)

2024年度は第7次中期計画の最終年として、6つの柱に沿って活動します。「労働者協同組合」の組織移行への取り組みをすすめます。ワーカーズ・コレクティブの社会的役割や意義について確認します。昨年に引き続き、連絡協議会として持続可能な組織の役割・在り方について検証します。暮らしやすい地域づくりをすすめるため、社会的連帯経済の地域資源と連携し活動します。

2024年度計画

1. ワーカーズのあるまちづくりを推進します
2. 事業の継続と強化
3. 組織の理解と検証
4. 労働者協同組合法（ワーカーズ法）の理解と活用
5. ワーカーズ・コレクティブの認知度を高める
6. 生活クラブ運動グループや他団体との連携

たすけあいの日 フォーラムのお知らせ

全国社会福祉協議会では、10月15日を「たすけあいの日」としています。これにちなんで、たすけあいの日フォーラムを開催します。地域において、福祉のたすけあい活動に参加する人を増やすには、地域の中でのつながりが大切です。誰もが安心して地域で暮らすため、地域福祉の充実に向けてたすけあいのしくみづくりを考えてみませんか。



申込みは、9月を予定しています。連協ホームページをご覧ください。

日時：10月12日(土) 10:00～12:00 **参加無料**
場所：札幌エルプラザ 大研修室（札幌市北区北8西3）
共催：生活クラブ/市民ネット/ワーカーズ・コレクティブ

おもちゃフォーラム in 2024



木の砂場や選りすぐりのおもちゃで遊んでみませんか？下記日程以外にも、北・中央・南区で開催します。ホームページでご確認ください。参加費（保険代として）一人100円がかかります。

7/21(日) 北白石地区センター / 10/2(水) 野幌公民館

■対象：お子さんと保護者 ■時間：10:30～14:30

あそびボランティア講座

詳しくはHPをご覧ください



子どもとのコミュニケーション遊びを学びませんか？

■対象：60歳以上の男性 ■参加費：1,000円
■日程：9/10・9/16～21・10/1 ■場所：豊水会館

主催 問合せ NPO 法人 北海道子育て支援ワーカーズ
TEL 011-632-5180



HP

起業カフェ どうぞ!

「これから何ができるか考えてみたい」「ワーカーズってなあに？」という方に向けて、カフェを開催します。開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応します。お気軽にお立ち寄りください。予約不要、参加無料です。

開催日時
7/25 8/29
9/26 10/31
木曜日
14:00～16:00

会場 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

プレゼント付き! クイズ

白石区で開催したイベントの名前は? (ヒントはP2-3)

①あつまるしえ ②からまるしえ ③たかまるしえ

正解者の中から抽選で2名様に、『ワーカーズ・コレクティブ 実践ガイドブック』をプレゼント!

応募方法 FAXまたはメールで、名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締切りは、9月末日。



連協 HP

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階 A号室
☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651
Email wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 齊藤 佳代子 編集責任 / 理事会 制作 / ブランズEPO

■年3回発行 年間購読料 / 1000円

業種	団体数
食	8
福祉	9
子育て	12
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨&カフェ	1
編集・事務	1

1986年に設立。35団体約470名が加入しています。

江別とともに育つ 子育ての輪

interview 岡 幸代さん

子育て支援ワーカーズ きらきら

TEL 090-9527-5465 〈2005年設立・会員15名〉

地域とのつながりを大切に活動している、子育て支援ワーカーズきらきらの代表 岡 幸代さんに子育て支援への想いを聞きました。



おかゆきよ 気分転換は手芸。パッチワークをして
いると無心になれる。

きらきらとのめぐり逢い

15年ほど前、ひき肉のおいしさに惹かれて生活クラブに加入しました。運営委員をしていた知人から、イベントの時に託児を担当しているワーカーズきらきらのスタッフが足りない聞き、見学。子どもが大好きで、保育にも興味がある自分に少しでもお役にたてることあるんだ!と、嬉しい気持ちで入会しました。それから12年、代表となって5年ですが、子育て中のみなさんに伝えたい想いは尽きることがありません。

「子育て支援」への想い

今は育児に関する情報量がとても多いですね。親は、そこから自分に合った育児法は何かと選択する最初の段階で、頑張り過ぎたり迷ったりしてしまうのかなと感じています。たとえ頭の中で子育てを理解できたとしても、実際はそう上手くはいかない。難しく考えるのではなくもっとシンプルに、そして、一人で頑張らずにまわりの皆を巻き込んで、人に頼っていいんだよ!と伝えていきたいです。



きらきらひろばの様子

自分自身も子育てをしている時は、「子どもは毎日お風呂に入れてあげるもの」という使命

感にとらわれていました。でも、友達の「無理して毎日入れなくても…。別に入れられない日があってもいいんじゃない?」のひと言で、育児のこうしなればいけない!から解放され、楽しく子育てができるようになりました。そんな経験もあって、子育てを大変だけではなく楽しかったと思って欲しい。そう感じてもらえるように、親子に寄り添っていききたいという想いが、今の事業と活動につながっています。長く続いたコロナ禍で、人との距離を保つのがマナーのように感じられている傾向があるからこそ、時間をかけてじっくりと伝え続けることが大切だと感じています。

今後の展望や夢について

江別市は若い世代の人口が増えているので、子育てしやすい町なんだと感じています。そんな地域できらきらは、親子でゆっくり遊べる「きらきらひろば」、子どもから年配の方まで楽しめるサロン「e-たいむ」や「CoCoカフェ」など、多様な活動を拡げてきました。

来年は設立20周年となります。設立当初、幼かった子どもたちも親世代になっていくでしょう。子育てで困った時は、きらきらを思い出して頼ってもらえたら嬉しいです。そして、江別で子育てして良かった!と思ってもらえるよう、これからも引き続き親子の困りごとへ寄り添い、これまで以上に頼られる存在として活動していきたいです。

【取材/村上・岡田】